

Socially Engaged Art

社会を動かすアートの新潮流

2017/2/24 [Fri.] 19:00-21:00

MDRの参加型パフォーマンスは「社会の鍼治療」

登壇者：ダレン・オドネル (マリアン・ダイビング・リフレックス [MDR] 芸術ディレクター)

Participatory performance by MDR is called "Social Acupuncture"

Speaker: Darren O'Donnell (Artistic Director of Mammalian Diving Reflex)

会場 Arts Chiyoda 3331 (1階 コミュニティスペース)

定員 50名 (先着順 事前申し込み不要) ※ 通訳付き

参加費 500円 (メインギャラリーの展覧会を鑑賞される方は、入場券が必要です)



マリアン・ダイビング・リフレックス (子どもたちによるヘアカット)
Photo by Pekka Mäkinen



マリアン・ダイビング・リフレックス (子どもたちによるヘアカット)
Photo by John Lauener



マリアン・ダイビング・リフレックス (MDR) は、1965年カナダ、エドモントン生まれの作家、脚本家、パフォーマンス・アーティスト、ダレン・オドネルが1993年に設立したアート & リサーチ集団である。2003年まではオドネルの舞台パフォーマンスが中心だったが、伝統的なヨーロッパ演劇の後進性や硬直性に限界を感じた彼は、「人々はお互いにどのように関わりあえるか」をテーマにアプローチの幅を広げ、学校や老人ホーム、地域組織、国際アート・フェスティバルなどとのコラボレーションで、“社会の鍼治療 (Social Acupuncture)” と称する、遊び心にあふれ、挑発的な参加型プロジェクトを行うようになった。2006年に著書『Social Acupuncture』を出版し、MDRの創造的方法論を確立した。

本レクチャーは、代表的プロジェクト「子どもたちによるヘアカット」をはじめさまざまな事例から、そのコンセプトを説き明かす。[写真：ダレン・オドネル]

子どもたちによるヘアカット Haircuts by Children

10～12歳の子どもたちが、プロの美容師から講習を受けた後、本物の美容室を借り、大人の客に無料のヘアカット・サービスを行う。そのねらいは、「子どもたちには美的・創造的な決定のできる個人としての責任と自信を持たせ、大人たちには、従来の大人と子どもの力関係が逆転した非日常的な体験により、子どもの能力を見直すきっかけを提供する」。2006年からMDRが活動拠点を置くトロントをはじめ、世界35都市で、主に地域の芸術祭のプログラムとして実施されてきた。日本での初開催となる今回は、足立区のオルタナティブ・スクール「こどもみらい園」の児童を中心に、2月26日(日)にヘアカットに挑戦する。

今後のレクチャー・シリーズ

- 2/26(Sun.) 「アイ・ウェイウェイの新作《ライフジャケットの輪》とその背景」
講師：片岡真実 (森美術館チーフキュレーター) インタビュー：村尾信尚 (NEWS ZERO メーンキャスター、関西学院大学教授)
- 3/2(Thu.) **フィフス・シーズン**
登壇者：エスター・フォセン (フィフス・シーズン：ディレクター)、ウイルク・タウン (ビューティフル・ディストレス設立者/精神科医)、アーカス・プロジェクト、岡田聡 (精神科医/アートコレクター)